

2011年9月7日

各位

イビデン株式会社

世界の代表的な社会的責任投資評価会社 SAM 社より CSR 格付「ブロンズクラス」を受賞

イビデン株式会社（本社：岐阜県大垣市、代表取締役社長：竹中裕紀）は、SAM (Sustainable Asset Management) 社による CSR 格付において、「ブロンズクラス」に選定されました。

SAM 社は、スイスに拠点を置く、世界の代表的な社会的責任投資（SRI）分野の調査、格付会社です。

表彰式は 8 月 25 日に、グランドハイアット東京（東京都港区）にて開催されました。

SAM 社は毎年、世界の時価総額上位 2,500 社の持続可能性を経済面・環境面・社会面の 3 つの側面から評価し、特に優秀な企業を「ゴールドクラス」「シルバークラス」「ブロンズクラス」の 3 クラスに分類、格付けしています。

2011 年は 103 社（うち日本企業は 7 社）がゴールドクラス、92 社（うち日本企業は 11 社）がシルバークラス、77 社（うち日本企業はイビデンを含む 3 社）がブロンズクラスに選定されました。

イビデンは 2010 年 9 月に、SAM 社が調査・評価する社会的責任投資（SRI）である DJSI (Dow Jones Sustainability Index) のワールド部門にも選定されました。また、2009 年 9 月より、DJSI のアジア・パシフィック部門にも継続して選定されています。

今後も当社企業理念・イビデンウェイのもと、CSR 経営を実践し、積極的な情報公開と全員参加の活動により、社会の持続的な発展に貢献して参ります。



▲記念品を受け取る高木常務執行役員（右）



以上

